

# 早稲田のいぶき



▲第一回まち歩きの様子(21年3月1日)



▲実地踏査の様子(21年5月24日)

## 第一分科会

### まちづくり分科会

### 「早稲田まち歩き」まちの歴史発掘事業

「本郷もかねやすまでは江戸の内」

これは、江戸時代の古川柳で、当時の江戸市内がどこまでかを表しているものである。「かねやす」というのは、現在も本郷三丁目の交差点の角で開業している雑貨屋さんの屋号のことだ。そうすると、現在、赤門のある東大キャンパスは、江戸の外ということになる。江戸時代の地図は、江戸市内と市外の境界線を朱色の線で示していた。そのため、江戸市内のことを朱引内、市外を朱引外と呼んでいた。

この川柳をアレンジして現在の榎地区を表現すれば「新宿も馬場下までは朱引内」となるだろう。

忠臣蔵の主要人物の一人である中山安兵衛は、叔父の仇討ちの助っ人のために住んでいた朱引内の神楽坂の家から、ほぼ現在の早稲田通りを西に進み、途中、馬場下町の小倉屋で枥酒を引掛、八幡坂の坂下で朱引外に出て、坂を上り、仇討ち会場であった高田馬場(現、水稲荷神社南側)に向い、そこで堀部家に見込まれて養子になったということになるのだろう。

我々が居住している榎地区は、ほとんどが朱引内であり、古くから歴史のあるまち並みであったが、意外と住んでいる住民にはその中身をあまり知られていない。去る3月1日に新宿歴史博物館の全面

的な協力を得て、第1回の「まち歩き」を計画したところ、30名の定員をはるかにオーバーして参加をお断りしたほどであった。次回もぜひ計画をとの声もあり、地域住民のまちの歴史発掘に関する関心の深さがうかがわれた。

そこで、当、第一分科会は、平成21年度事業計画の一つとして新宿歴史博物館の全面的な協力の下に「早稲田まち歩きマップ」(榎地区)の作成、「ガイド養成講習会」、「まち歩きの実施」をすることにした。現在マップ作成のための実地踏査、マップ記載内容、配列の検討を精力的に行っており、本年8月までに発行できる見込みである。マップはA3サイズの四つ折で、「早稲田(榎地区)の歴史」、「早稲田の史跡(24か所)」、「早稲田ゆかりの人々(16人)」、「早稲田の主な坂(12か所)」、「地域のエピソード」の説明があり、地図上にはこれらの場所が判りやすく表示される予定にしている。また、具体的なまち歩きコースを北、中央、南の3コースを設定し、それぞれのコースは説明を含めて2時間程度で歩けるように配慮してある。

8月以降「ガイド養成講座」、「まち歩きの実施」を計画し、ご案内するので大勢の方の参加をお待ちしている。

# 榎地区協議会



▲榎地区協議会会長 黒川孔晴

榎地区協議会は発足してから三年半の月日が経過いたしました。去る5月20日開催の今年度第一回全体会は通算八回目となり、全くのゼロからスタートした協議会が、着実に歩みを進めてこられたのも、地域住民の皆様のご支援のおかげと、改めて感謝申しあげます。今年度は委員の任期満了に伴い、その顔ぶれも一部変わりました。別表のとおり新しい役員も決定し、地域の暮らしのため、未来のために、委員一同益々の創意工夫と研鑽を重ねていく所存でございます。

協議会は地区のさまざまな団体の代表及び公募委員の集まりです。第一分科会から第四分科会までの各分野に分かれ、地域の中でいろいろな事業に一生懸命取り組んでおります。少しずつではあります、活動の成果が目に見え始め、住民の皆様からお褒めの言葉や、お励ましをいただくようになりました。しかし、まだまだ地区協議会の存在は一部の方々にしか浸透していないのが現状です。弊紙『早稲田のいぶき』は、地区協議会の幅広い活

動を皆様にご覧いただくとうと、年二回、榎地区協議会が発行する広報紙です。皆様にご愛読いただける紙面を目指し、努力して参ります。

また、各地区協議会(10地区)からの代表と公募委員等32名によって、新宿区自治基本条例区民検討会議も行ってあります。弊紙第3号で詳しい仕組みをお知らせいたしました。現在は平成21年度の完成を目指し、精力的な検討を進めております。地域の皆様に分かりやすく、かつ区民の暮らしの向上に役立つ条例ができるよう、努力しております。

私ども榎地区協議会の活動に対し、地域の皆様のご理解とご協力をくれぐれもよろしくお願いいたします。

## 役員会(敬称略)

会長	黒川 孔晴	(改代町)
副会長	清水 恒夫	(馬場下町)
	中村 廣子	(中里町)
理事	桐生 清人	(早稲田鶴巻町)
	加藤 利雄	(喜久井町)
	松永 健	(原町)
	廣井 伸行	(早稲田鶴巻町)
会計	吉田 律子	(原町)
	志村 秀彦	(弁天町)
監事	吉澤 照雄	(水道町)
	井上 公隆	(市谷薬王寺町)
	小菅 知三	(天神町)

## 分科会リーダー(敬称略)

分科会	リーダー
第1(まちづくり)	桐生 清人
第2(地域安全)	飯島 光幸
第3(環境美化)	廣井 伸行
第4(地域ふれあい)	吉田 律子

## 委員選出団体

地区協議会は以下の各団体からご推薦(選出)いただいた委員と、公募委員によって構成されています。

榎町地区町会連合会、榎町地区青少年育成委員会、榎町地域センター管理運営委員会、商店会(北部)、商店会(西部)、商店会(南部)、民生・児童委員、保護司会、高齢者クラブ、早稲田小学校PTA、鶴巻小学校PTA、江戸川小学校PTA、牛込第二中学校PTA、牛込防火防災協会、牛込消防団、赤十字奉仕団榎町分団、地域防災協議会、スクールコーディネーター、青少年活動推進委員会、児童館運営委員会、牛込交通安全協会、牛込防犯協会、牛込清掃協力会、避難所運営管理協議会、公募委員  
(順不同)

## 平成21年度事業内容

内容
<b>1 協議会全体</b> 榎地区協議会の周知活動 広報紙『早稲田のいぶき』の発行、パネル作成、タブロイド紙の発行等
<b>2 第一分科会</b> ①「早稲田まち歩き講座」の実施と「早稲田まち歩きマップ」の作成 ②「榎地区みどりのクラブ(仮称)」の創設・運営
<b>3 第二分科会</b> ①「ピーポ110番のいえ」の加入を地域へ呼びかけ ②「安全・安心パトロール」の実施
<b>4 第三分科会</b> ①放置自転車追放キャンペーンの実施 ②ポイ捨て禁止キャンペーンの実施 ③地域の緑化推進活動
<b>5 第四分科会</b> ①榎ふれあいデーの推進 ②榎ふれあい食育の実施

# 地域安全分科会



▲車が多くても、井上さんの交通整理で安心

地域安全分科会は「地域安全」をテーマとし、牛込警察署と連携し子どもたちの安全と地域防犯を目的に活動している。

主な活動として、「子どもは宝」を合言葉に、子どもたちの安全を願い、犯罪に遭わないよう、巻き込まれないよう、青色灯搭載車両(通称「青パト」)を使用し、小学生の下校時に青色灯を回しながら不審者がいないか、危険はないか、巡回し見守っている。さらに、市谷仲之町交差点では、朝の7時50分頃から8時半頃まで、登校の児童を中心に、通行者の安全を守るため、分科会メンバーが交通整理を行っている。



▲朝の交通整理を1年半近く続けています。

また、地域犯罪防止としては、同様に巡回時スピーカーで「振り込めサギ」防止を呼びかける等、防犯広報活動を実施している。

防犯の原点は「地域の目」であり、個々の注意と関心が多大な抑止効果に繋がっていると思われる。幸い榎地区は昔からの風土と人情が息づき、密なふれあいが残っている。おかげさまで当管内においては犯罪率は低下しているが、逆に増加している犯罪もある。そのひとつとして「引ったくり犯」が挙げられる。現在、警察署では抑止活動として「ヒッタクリア」運動を展開中である。予防策としては

① 後ろからバイクや自転車で近づく者があるときは振り返る

② 荷物、バッグは左側(建物側)に持つ

③ 自転車の前かごにはネットをかける等がある。皆さん気を付けましょう。

その他の主な活動として、「ピーポー〇ばんのいえ」マップの作成が昨年度から始まった。地域内の四つの小学校ごとに、通学路と周辺のどこに「ピーポー〇ばんのいえ」があるかを、わかりやすく示した地図を順次作成していく。昨年は「ピーポー〇ばんのいえマップ 鶴巻小学校周辺マップ」を完成し、PTAのご協力を得て児童全員に配布させていただいた。今年度は早稲田小学校ほか二校のマップと、鶴巻小マップの改訂版の作成を計画している。なお、鶴巻小マップは榎町特別出張所でも入手可能となっている。

ご希望の方にご活用いただければ幸いです。第二(地域安全)分科会は、地域住民の皆様と子どもたちのために、より良い環境を作り、私たちの地域から絶対に事件が起きないことを願い、微力ながらメンバー一同これからも頑張りたいと思っています。

# 環境美化分科会

有料駐輪場が早大通り4か所に完成しました。当広報紙第三号で設置予定をお知らせしていた有料駐輪場が無事に完成し、四月から稼働しています。近隣の皆様にはご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

今回はモデルケースということで設置されましたが、その効果は早くも表れており、有料駐輪場の周りでは、放置自転車が明らかに減りました。

しかし、駐輪禁止区域以外の場所や、大通りから一歩裏に入った路地等では、まだまだたくさん放置自転車があるのが現状です。



▲早大通りの有料駐輪場。バイクも駐輪できます。



▲自転車の持ち主さんとしても安心です。

これからは、この有料駐輪場をもっと利用することによって、放置自転車が減っていくように、宣伝、啓発をしていきたいと思っております。私たち第三分科会は今回のモデルケースをさらに検証し、良い方向を模索しながら、今後の設置場所等について、住民の皆様と一緒に、行政への協働参画という形で提言していきたいと思っております。

また、放置自転車撤去のキャンペーンのみならず、引き続き「たばこのポイ捨て防止」キャンペーンも早稲田駅を中心に実施していきます。

なお、今年度から新たに地域の緑化推進活動を始める予定を立てております。環境美化の観点から、地域に花や緑を増やしていく活動を一步一步進めていきたいと思っております。

# 地域ふれあい分科会

五月の空にカラフルな鯉のぼりが気持ち良さそうに泳いでいます。裏地用の布地で作った長さ2メートルの真白い鯉が二尾。まず初めに刷毛で目を入れました。さあ集まった子どもたちの出番。刷毛・スポンジ・フルーツキャップ等を手、「スースーベタベタ」思いのままにさまざまな形と色のウロコとヒシが描かれます。最後に尾を描いて出来上がりー世界で一つしかない、堂々とした手作り鯉が二尾できました。

みんなの思いとさわやかな風をいっぱい含んで、仲良く、グリーンベルトの空を泳いでいます。「来年も作って揚げようね」「毎年作って樓の空にたくさん鯉を泳がせよう」早大通り、第一日曜日、5月3日、「ふれあいデー」の1コマでした。



▲色づかいも鮮やかで、元気そうな鯉です。



▲見事に泳ぐ鯉を見上げ、みんな笑顔です。



▲子どもたちが楽しく工夫しました。



▲夏目漱石の紙芝居。勉強になりました。

この日は、体育指導の方が「ドッチビー」を教えて下さいました。当たっても痛くないフリスビー型のものを飛ばし競います。「輪投げ」のように幼児から高齢者まで楽しめる新しいスポーツです。また、漱石山房の方が、「夏目漱石」の紙芝居をして下さいました。「ふれあいデー」は、地域のみなさんのご協力を得て、さまざまな遊びをしています。昔あそび・ゲーム・インラインスケート・輪投げ等の他、七夕かざり、笹舟、おみこし等を作り、季節の風情も楽しんでいきます。毎月第一日曜日の午後は「ふれあいデー」です。早大通りでお会いしましょう。

5月16日(土)、樓町地域センターで第3回「ふれあいクッキング」を開きました。「食はいのち」というテーマで、赤ちゃんにもお年寄りにも病人にもやさしい「いのちを育むスープ」を三種作り、大好評でした。若い女性や男性の参加もあり、食を通じて「ふれあい」の輪が広がりました。

● 樓地区協議会は住民の皆様の意見を集約し、また行政の方針を検討し、地域の考えを区政に反映していく窓口として、がんばっていきます。

お問合せ・ご応募は 樓地区協議会事務局(樓町特別出張所内)まで  
 Tel 03-3202-2461 FAX 03-3202-2476  
 〒162-0042 新宿区早稲田町85番地 樓町特別出張所内 樓地区協議会事務局  
<http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/division/261500enoki/index.html>

お待ちしております

公募委員

おります